

神奈川県労働局（局長 藤永芳樹）は、建設業の労働災害の減少を図っていくため、現場内の残存リスクについて目に見える形にすることにより効果的に災害防止を展開する「安全の見える化」の推進に取り組んでいるところであり、進捗管理が難しくなりやすい12月、1月の2か月間を『建設業「安全の見える化」推進重点期間』として、建設業の労働災害の防止を強化することにしました。

本重点期間の取組の一環として、「安全の見える化」を主眼の一つとした神奈川県労働局長による建設工事現場パトロールを実施しました。本パトロールには、神奈川県労働局長、横浜北労働基準監督署長、建設業労働災害防止協会神奈川支部長をはじめとして各所属の職員が参加しました。特に今回は、人材が不足する建設業への女性の進出が注目されていることから、女性が働きやすい職場環境づくりが進められているかについても、労働局雇用環境・均等部指導課の女性職員の視点で確認しました。

今回パトロールしたのは、横浜市営地下鉄新横浜駅下部に相鉄東急直通線の新駅を開削により構築する工事現場です。

11月8日早朝に福岡市の博多駅前において地下鉄延伸工事が原因とされる道路陥没事故が発生したことを受け、本パトロール現場においても、道路陥没事故等の土砂災害が発生するおそれがないかが重要な確認事項でした。道路部分は「開削」工法で掘削され、鋼製連壁で土留め壁を構築後、H鋼の鉄骨梁により土止め支保工の架設・構築をし、その上側に覆工板を設置して道路路面としていたもので、博多と同じ土砂流出による事故の発生はないものの、鋼製連壁、土止め支保工の強度が保たれていることの確認をしました。

さらに、本工事現場でも道路外工事用地から立坑を掘削後、福岡と同じ「NATM」工法により、連絡導坑(横坑)と市営地下鉄新横浜駅躯体を仮受けするための導坑の掘削をしていましたが、地下水は設置された計測器・モニターで適正に管理されていました。

パトロールを実施した結果、本工事現場において「安全の見える化」に取り組んでいること、開削、NATMによる土圧や地下水の管理も含めた労働災害防止措置が適正に講じられていること、女性が働くことができる環境が確保されていることが確認できました。



写真1

【神奈川県労働局長の挨拶】

パトロールの趣旨について説明し、引き続き無災害を竣工まで継続できるように要請した。



写真2

【現場所長挨拶】

局長挨拶を受け、JV現場所長から、災害のないよう安全管理を徹底しているが、労働局側からの視点で本日のパトロールで気づいた点を指摘いただきたいと申し述べた。



写真3

【現場所長の説明】

JV現場所長から、工事概要、安全管理状況、進捗状況、本現場の施工に当たっての留意事項等についての説明を受けているところ



写真4

【現場パトロール1】

立坑上部開口部（地上）から坑内の状況について説明を受けているところ
（地上ヤード）



写真5
【現場パトロール2】
 立坑内最下部において、坑内での合図等ルールについて説明を受けているところ
 （坑口から深さ21mの位置）



写真6
【現場パトロール3】
 市営地下鉄新横浜駅 躯体下部を仮受するための導坑の状況を確認（NATMによる掘削途中の段階、仮受杭設置前）

コンクリート吹付け

支保工（U字形）

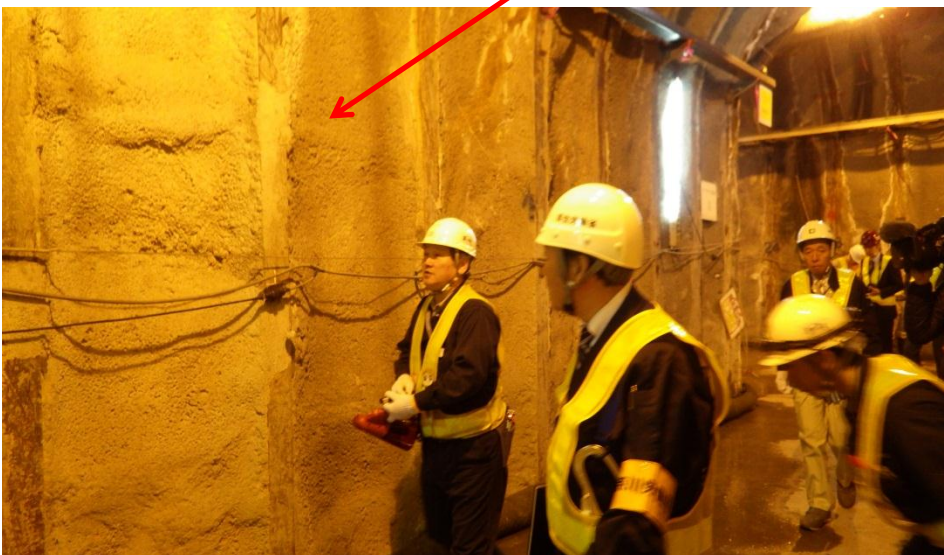


写真7
【現場パトロール4】
 導坑内コンクリート吹付状況を確認しているところ



地下鉄新横浜駅
躯体下側

ジャッキ

仮受杭

写真8

【現場パトロール5】

導坑内の状況を確認しているところ
(今後、10m深く掘削する)



地下鉄新横浜駅躯体下側

ジャッキ

仮受杭

写真9

【現場パトロール6】

市営地下鉄新横浜駅躯体下側
を支えるジャッキと仮受杭（導坑内）



写真 1 0

【現場パトロール 7】
 地上モニター室
 地下水、支保工、杭
 等にかかる圧力の変化
 の状況を監視するモニ
 ターを見ているところ
 (数値の見える化)



写真 1 1

【現場パトロール 8】
 開削した掘削路下
 (道路下側)の通路に
 降りて周囲の状況を確認
 しているところ
 (掘削した空間に構築
 した土止め支保工の通
 路上から確認)

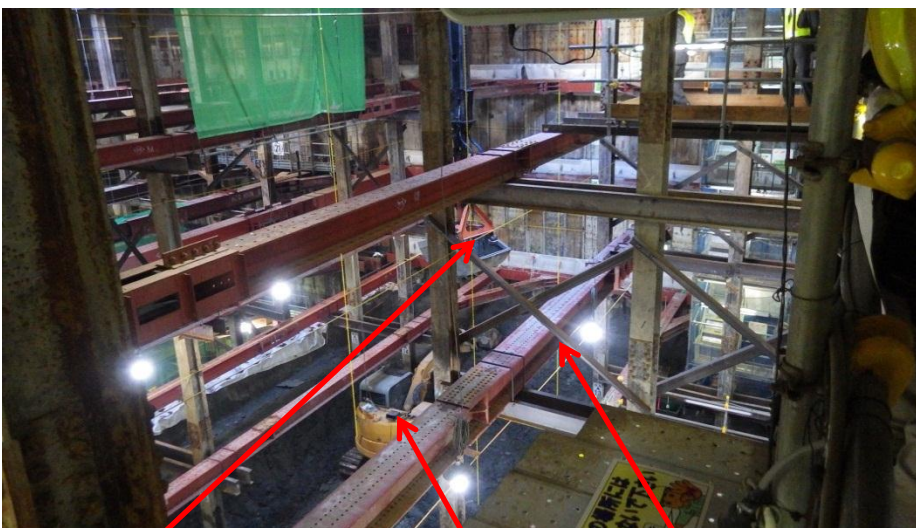


写真 1 2

【現場パトロール 9】
 掘削路下の床面の掘
 削状況の確認をしてい
 るところ
 (土止め支保工を構築
 した底部分を重機で掘
 削し、テレスココラム
 で搬出中)

掘削土を搬出するテレスココラム
 仕様機 (建設機械) のバケット

土止め支保工 (H 鋼)

掘削機械 (ドラグ・ショベル)



写真13
 【現場パトロール10】
 鋼製連壁による土留めについて、傾斜計により測定を行っていることを測定箇所を確認しているところ



安全の見える化

写真14 (左写真)
 【現場パトロール11】
 通路段差箇所に「足もとと注意」の表示をするとともに、音声で注意喚起 (聞こえる化)
 写真15 (右上写真)
 【現場パトロール12】(右上写真)
 階段通路の頭上低い箇所に「頭上注意」の表示をしている。
 写真16
 【現場パトロール13】(右下写真)
 安全帯使用箇所に、「安全帯を使用せよ」の表示をしている。



写真17
 【現場パトロール14】
 掘削土を地上に搬出する
 テレスコクラム



写真18
 【現場パトロール15】
 開削路下から地上に出
 たところ（地上ヤード）

開削路下からの出口

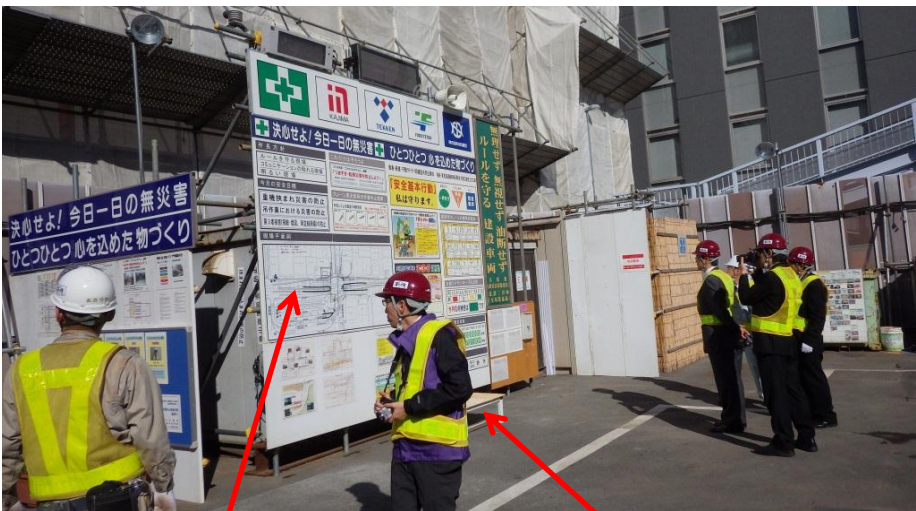


写真19
 【現場パトロール16】
 朝礼場所と今月の目
 標、合図等の安全の掲示
 （写真18と同じ地上ヤ
 ード）

掲示板

朝礼台



写真 2 0

【パトロール後の講評】
労働局長、安全課長、
横浜北労働基準監督署
長、雇用環境・均等部指
導課第一係長、建災防支
部長による講評が行わ
れた。



写真 2 1

【パトロール後の講評】
指導課係長は、女子更
衣室、女子休憩所につ
いて適正に確保されて
いることを確認したこ
と、今後とも女性労働
者の意見を踏まえ、男
女ともに働きやすい
職場環境づくりに取
り組むよう申し述べた。